

「生田緑地マネジメント会議」の内容をお知らせします。

●「平成29年度生田緑地マネジメント会議」第3回運営会議開催●

平成29年10月13日（金）18時00分から、生田緑地東口ビジターセンター2階多目的スペースにおいて、平成29年度第3回運営会議が開催されました。

会議では、承認事項として来年行われる『全体会議の開催内容について』確認しました。協議事項としては『ブランド化の検討』について話し合い、『今後のスケジュールについて』確認しました。また、報告事項として『自然会議からの報告』や『おもてなしプロジェクト』などから報告があり、各会員の立場から、活発な意見交換が行われました。

続いて会員の『飛森谷戸の自然を守る会』から報告がありました。

●議事概要●

1. 承認事項
○平成29年度全体会の開催内容について
2. 協議事項
○ブランド化の検討について
○今後のスケジュールについて
3. 報告事項・その他
○マネジメント会議会員の活動内容のマッチングについて
○自然会議からの報告
○おもてなしプロジェクトからの報告
○緑のサロンの開催について
4. 会員からの報告
○「飛森谷戸の自然を守る会」の活動について

1.承認事項①平成29年度全体会の開催内容について

本年度を締めくくる全体会議の開催内容について、指定管理者制度の1期目の最終年にあたる事から、そのテーマを『生田緑地マネジメント会議、5年間の総括と新たな5年間の展望』に設定しました。各団体の本年度の活動報告や生田緑地マネジメント会議の5年間の総括し、生田緑地の外で緑地の保全と利用に関わる活動をしている方々を招きパネルディスカッションを開催します。パネルディスカッションでは、各団体の活動経験に基づき、本テーマを踏まえた発表をして頂き、参加者による意見交換を図る事にしました。

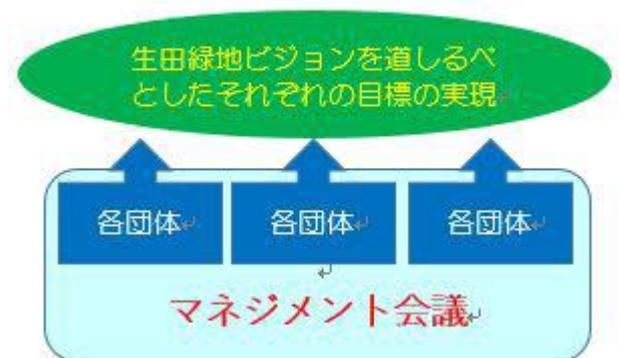
2.協議事項①ブランド化の検討について

ブランド化の検討のこれまでの議論から、「生田緑地は多様な活動ができる場所であり、大勢の人（各種団体、行政、指定管理者）が関わって『豊かな自然』の実現や『多様な文化』の維持をしようとしている場所であるということ」、そして、これが生田緑地の『唯一無二』のところであることを再確認することが出来ました。また、生田緑地の協働のプラットフォームのあり方として、「生田ビジョンを道しるべに、それぞれの目標の実現を目指す各団体の主体的な活動における課題の共有と相互理解、交流活性化を図る」ことを互いに再認識しました。

協議事項②今後のスケジュールについて

今後は第4回運営会議で、ブランド化の検討結果を報告し、これに基づく具体化について話し合い、併せて、全体会に向けてとりまとめを確認しました。

○生田緑地の協働のプラットフォームあり方



○生田緑地ビジョンを道しるべに、それぞれの目標の実現を目指す各団体の主体的な活動における課題の共有と相互理解、交流活性化を図る。



